

IPad 事例カード 様式

|  |  |
|--|--|
| アプリ名   | Pages  |
| 教科・領域  | 国語 「分かりやすく伝えよう」  |
| 学習形態   | 集団（ 人程度） ペア <b>個別</b>  |
| 太田ステージ段階   | Ⅲ-2(後)～Ⅳ-1   |
|  |  |
| 1 アプリの紹介   | <ul style="list-style-type: none"> <li>•Pages は iPad や iPhone など Apple のワードプロセッサ。文書作成機能だけでなく、デザインツールも充実しており、より鮮やかな文書を作成できる。また、作成しながら写真やビデオを撮影できる。作成した文書は iCloud リンク経由で共有できる。 Microsoft Word13 との互換性もある便利なアプリ。</li> <li>•今回は Pages を使って好きなキャラクターや身近なものを題材に、場面絵を作成しておき、2台の iPad を用いて自分が見ている画面と同じように相手にキャラクターや物の配置・構成を行ってもらった。相手には自分の画面は見せないで、相手の視点で、丁寧に分かりやすく伝えることが必要。</li> <li>•キャラクターや物は指でタッチしながら移動することができるので操作よりも相手に話をする事に集中できる。</li> </ul> |
| 2 使い方  | <ol style="list-style-type: none"> <li>① Pages を立ち上げて、「分かりやすく伝えよう」のファイルを開く。(2名とも)</li> <li>② 教室には教壇しか置かれていない状態でスタート。教師が片方の iPad を操作（生徒に見られないよう）をしてキャラクター等を配置する。</li> <li>③ 渡された生徒は画面を見て、話す順番や、「何を」「どこに」「どうする」などを考えてから、相手の名前を呼び、「はじめに…」「次に…」とはっきり話す。</li> <li>④ 相手は「できました」とか「もういちどお願いします」などしっかり答える。</li> </ol>  |
| 3 おすすめポイント<br>・どんな力がつか   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の立場になって考える力。</li> <li>・相手に分かりやすく伝えるために言葉を考える力。</li> <li>・思い通りにいかなくても苛立ちをコントロールする力</li> </ul>   |

【留意点・その他】

- ・教師は画面だけを見て話をしないようにする。  
(その為少し iPad の操作に慣れておく必要がある。)